



陽子の道政だより

78

2020年 新春号

発行 平出陽子後援会

連絡先／函館市中島町2-8
北教組函館支部内
(☎33-5080)

謹賀新年



第四回定例会

「IR誘致」断念!!

知事「今回は見送る」答弁――

北海道議会議員 平出陽子

「あけましておめでとうございます。昨年の第四回定例会で、とうとう知事は「IR誘致」断念の答弁せざるを得ない状況になりましたが、

△平出V誘致反対の私達にとつては賢明な判断だったと思います。しかし本音は誘致に賛成したかったのでしょう。決断するべきタイミングを測っていましたが希少価値のある動植物のすみかがあることがわかり、環境調査に時間がかかることを理由に断念したのだと思います。誘致賛成派の顔も立つように、「今回は断念だけれど、来たるべき時には誘致を決断したい。」と答弁したのです。つまり誘致にも含みを持たせたのです。

△与党派が「誘致」にまともなかつたことも、断念の理由ではないですか。

△平出V私も、それは大いに関係あると思います。決断できる次回が来るのかも、はなはだ疑問であります。

①誘致した他県のIRが成功するのかどうか。

②誘致箇所拡大の時期の社会の経済状況
③苫小牧周辺の環境の変化があるかどうか

④他地域で必要な面積を確保できるか
等々、解決する課題が大きすぎて、先の見通しは立たない状況だと思います。

「次回めざして誘致できるようがんばる。」と氣勢を発している自民党に気をつかつている知事の姿のようにみえました。

ですから、反対派の道民は誘致した他県のように見ながら、反対する理論武装をしなければならぬと思います。

また、賛成・反対にかかわらず「ギャンブル依存症対策」はきちんと計画・実行させなければなりません。子ども達の「スマホ依存対策」も喫きんの課題ですから。

幌延深地層研究

更に延期

△こちらは残念な結果になりましたね。

△平出V日本原子力研究開発機構が管理運営する研究センターが放射性廃棄物を地層奥深く埋そうできるかどうかを研究していました。

最終処分場になるのではないかと言う恐れがありましたので、横路知事の時代「機構と道と地元」三者の合意が必要という約束を取り付けた経過があります。

「研究には終わりが無い、いつまでも研究は続くのだ」という考えならこの幌延は放射性廃棄物が延々と持ちこまれ、処分方法の調査研究に終わりはなくなります。机上の研究でなく処分実施研究ですから、今回は是非とも断固阻止です。



▲ 北海道女性議員協議会
北海道知事要請行動

△平出さんが会長をしている「北海道女性議員協議会」は、毎年総会で決議された要望が実現できるような国や道に要請行動をしていますね。

△平出さんは五十一回総会で会長に任命されました。今年度の旭川開催で六十七回目を迎え、新年度六十八回総会は江別開催が内定している歴史ある協議会です。

決議された要望六項目は、担当部長等と直接意見交換します。(下記写真参照)

今年は鈴木知事にも直接要望する時間がとれましたので、有意義な時間でした。

今年の要望項目で特筆すべきは「柔軟仕上剤等の香料による健康被害の実態解明」について切実な要望があり、環境生活部や保健福祉部に訴えてきたことです。道議会ではあまり議論されてません。

北海道女性議員協議会が六項目を柔軟仕上剤等の家庭用品に含まれる香料による健康被害の実態解明を求める要望他

— 知事・各担当部に対し —



▲ 知事＝北海道女性議員協議会要請行動＝環境生活部 ▲

で見る 陽子の 道政日記



▲ 函館地区連合女性委員会定期総会



▲ おおさか誠二連合後援会拡大役員会・忘年会



▲ 道教委＝北海道女性議員協議会要請行動＝保健福祉部 ▲



▲ 函館地区交運労協要請行動
(函館ハイヤー協会にて)



▲ インクルーシブの集い



▲ 性被害者支援拡充を求める要請行動



▲ 12月17日 函館新聞より



▲ 連合 長時間労働は正街宣



▲ はちろ参議街宣活動同行

臨時国会が終了しました。「校を見る会」の問題を通して、政府与党の数を背景にしたおごりの政治が蔓延していることが明らかとなりました。その他にも、国会では教育を巡る大きな課題が論議されました。萩生田文科大臣による「身の丈」発言によって大きくクローズアップされた「英語の民間試験」問題は、公平性に欠く制度であり延期に追い込むことができました。さらに、「国語、数学の共通テスト記述式」問題についても、採点が正確に行うことができるのか等、問題だらけであり、こちらも延期に追い込みました。この2つの制度導入へ向けた大きな観点は、民間へ業務を移していこうという発想です。

平出陽子は長年教育に携わったものとして、公教育はしっかりと国や自治体が担っていくべきものと考えています。どんな地域・場所、境遇にあっても子どもたちには等しく教育を受ける権利があります。安易に民間に移譲していいものではありません。北海道の教育施策についても、道議会においてしっかりチェックし、子どもたちの未来を守るために今後も邁進して参ります。

あとがき



▲ トムの会料理教室



<https://www.facebook.com/himawari.hirade>

